



選ばれるまちの実現

安全・安心のまちづくり

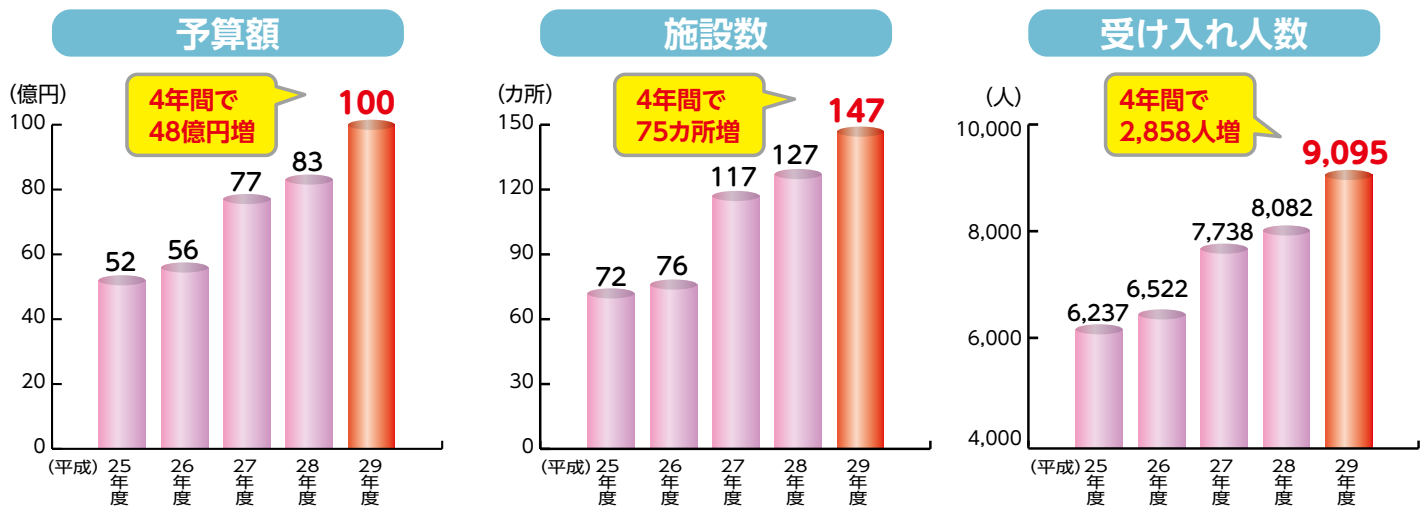
4月に開所した本町保育所

安心のまちづくり 子育て環境の充実

保育施設の整備や子育て支援への施策に取り組みます

喫緊の課題である待機児童の解消に向け、保育施設の整備や子育て支援への施策に取り組み、この4年間で予算額・施設数・受け入れ人数を拡大しました。今後も保育施設の増設など、さまざまな施策を展開し待機児童ゼロを目指します。

保育環境の整備状況



問い合わせ…子ども総務課 ☎048-271-9457 FAX048-255-3188

保育入所課 ☎048-259-9043 FAX048-252-7776



私立幼稚園へ通う園児に新たな支援を実施

市単独の補助金を拡充 (年額最大 40,000 円補助)

国庫事業の就園奨励費補助金に市単独の上乗せ補助

世帯の市民税所得割額により年額40,000円～308,000円を補助します(国庫と市単独分の合計)。

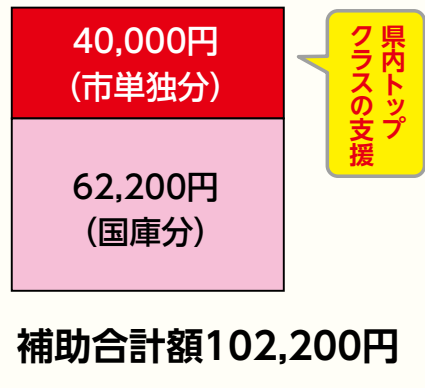
※「保育料等の補助に関する調書」を6月上旬に幼稚園から配布しますので、必要事項を記入の上、幼稚園に提出してください。

私立幼稚園の入園料補助

入園児童1人につき2万円を補助します(所得制限なし)。



(例) 市民税所得割額が211,200円以下の世帯で第1子の場合



開園時間11時間以上の 長時間預かり保育の実施

【表1】は、市推奨の「長時間預かり推進事業」を実施中の私立幼稚園です。保育所と同様に早朝保育も含めた、11時間以上の保育を行い、夏休みなどの長期休暇でも預かり保育を実施しています。※園独自の休園日が10日間程度あります。

3～5歳のお子さんがある働く保護者の皆さんも、保育所だけでなく私立幼稚園も含めて就学前教育を選択できます。

【表1】 長時間預かり推進事業を実施中の幼稚園

実施園	住所	電話番号
ふじみ幼稚園	本前川2-12-15	048-266-7823
みのり幼稚園	鳩ヶ谷本町4-8-28	048-281-3514
川口しらぎく幼稚園	芝西2-7-35	048-267-2901
芝園幼稚園	芝園町3-16-1	048-269-2221

※休園日などの詳細は各園にお問い合わせください。

問い合わせ…保育入所課 ☎048-259-9043 FAX048-252-7776

ご利用ください子育て支援事業

地域子育て支援拠点

おおむね3歳までのお子さんと保護者が一緒に遊べる「おやこの遊び広場」など、さまざまな事業を、子育てサポートプラザや児童センター、公民館など市内50カ所以上で開催しています。保育士などがいますので、子育てに関する不安などお気軽にご相談ください。(詳細はP22・23参照)

かわぐちファミリー・サポート・センター

育児の援助を行いたいかと受けたいかたを支援する地域参加型の事業です。生後6カ月～小学6年生のお子さんを対象に、保育所や幼稚園、放課後児童クラブなどの送迎や短時間の預かりなどを、市民の有償ボランティアにより実施しています。ご利用には会員登録が必要です。(詳細はP22参照)

赤ちゃんにっこり応援金

赤ちゃんを出生した保護者のかたが、育児用品をレンタルや購入、または母乳育児支援を利用した際に、赤ちゃん1人につき1万円を上限に支給します。

申請期限は、赤ちゃんが1歳の誕生日を迎える前日までです。(所得制限あり)



子育て応援サイト「ママフレ」

子育てに関する行政サービスの内容を分かりやすく紹介するサイトです。スマートフォンからも簡単にアクセスできます。



問い合わせ…子ども育成課 ☎048-258-1114 FAX048-255-3188



安心のまちづくり 川口市立医療センターの充実

地域の医療を支える基幹病院を目指しています

安全で質の高い医療を市民の皆さんに提供するため、医療センターでは、地域の医療機関と連携しながら、高度・専門医療や救急医療、災害医療など、基幹病院としての機能の充実に取り組んでいます。

安心して産み育てるために 周産期・小児医療

周産期における突発的な緊急事態に備えるためには、産科・小児科双方からの一貫した総合的な医療体制が不可欠です。医療センターは、産婦人科、小児科、周産期センター・新生児集中治療科(NICU)、小児外科の医師をはじめ充実したスタッフの総合力で、母体・胎児・新生児の生命を支えています。



「周産期」とは…
母体・胎児や新生児の生命に関わる事態が発生する可能性が高まる妊娠22週から生後満7日未満までの期間を指します。

より高度な医療を提供するために 循環器科と心臓外科の連携

生命活動の中枢となっている心臓。心臓に起こる病気の全ては生命に関わる病気だといえます。医療センターでは、4月から心臓外科を新設し、内科的診療を行う循環器科と連携して、緊急性の高い心臓疾患にも、最適な高度医療が選択できる体制をとりました。近隣の医療機関とも連携し、術前・術後にも充実した医療を提供していきます。



一刻を争う重篤患者を受け入れ 救命救急センター

脳卒中、心筋梗塞、重症外傷、各種ショックなど生命に関わる重篤な患者に、高度な救命医療を提供する第三次救急医療機関として、医師などのスタッフを配置し24時間体制で受け入れています。



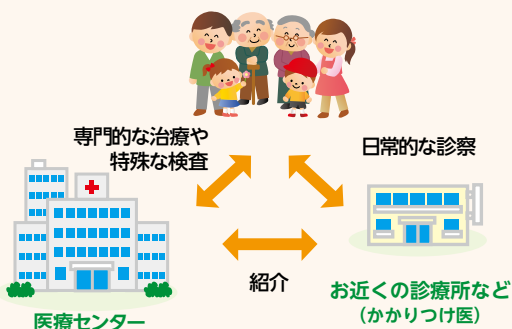
大規模災害時にも高度な医療を提供 災害拠点病院

耐震化された病棟を持ち、災害時に多発する重篤患者の受け入れや、被災地へ迅速にDMATを派遣する機能を持つ、災害時医療の中心となる医療機関としての機能を備えています。



「DMAT」とは…災害時に救急治療を行うための専門的な訓練を受けた医療チーム。地域はもとより全国の災害に対応できる体制をとっています。

地域の医療機関との連携強化に向けて～皆さんのご理解を～



お願いします。

現在、お近くの病院・診療所からの「紹介状」をお持ちのかたを中心とした診療に移りつつあります。急性期の治療が終わって症状が安定したら、お近くの病院・診療所をご紹介します。地域全体のスムーズな診療に、皆さんのご理解をお願いします。

地 域医療の中で医療センターが果たす役割は、「重症」「重症重篤」の治療です。

比較的軽微な「軽症」や症状が安定している時の治療はお近くの病院・診療所が、入院や手術を必要とする「重症」の治療は地域の中心病院が、そして生命に関わる「重症重篤」の治療は高度な専門的病院が担っています。

医 療の提供は、地域全体で考えることがとても大切です。



安全のまちづくり

防災・防犯体制の強化

災害に強く、犯罪のない安全・安心なまちを目指しています

誰もが安心して暮らせる環境を提供するため、市ではさまざまな防災意識の高揚や防犯活動の推進を図るなど市民、警察、消防と一体となり、防災・防犯体制の強化に取り組んでいます。

防犯パトロール車両の配備

市職員による子どもの見守りなどの防犯パトロールを実施するため、青色回転灯を装備した車両（青パト）を今年度までに40台、平成32年度には計100台の配備を目指します。



自主防犯活動の推進

「かわぐちRunRunパトロール」や「川口市ライフスタイルパトロール」など、日頃行っているランニングやウォーキング、犬の散歩などの機会を利用して、地域の見守りパトロールを行う自主防犯活動を推進しています。また、自主的に防犯活動を行っている団体に対し、パトロールに必要な資機材購入費の一部を補助します。

防犯カメラの設置

犯罪の抑止や警察への捜査協力のため、市内JR各駅周辺に35台を設置しました。また、今年度は市内SR各駅周辺に35台、平成30年度までに、町会・自治会への補助分を含め400台の設置を目指します。



防災資機材の整備

市内の小・中・高等学校などを災害時に避難所として運用できるよう、防災資機材の整備を行い、防災・減災力の向上に努めています。



防災意識の高揚

「防災出前講座」や「親子防災教室」を実施し、日頃からの心構えや具体的な行動など、災害に対する自助・共助をお手伝いしています。



災害は、いつ、どこで、どのように起こるかわかりません～災害への備えを～



大切な家族の生命や財産を災害から守るためには、備えが大切です。皆さん一人一人が防災への意識を高めることで被害を最小限に抑えることができます。

市では、地震・洪水の被害想定や、避難所の位置、避難方法、危険箇所などを記載したハザードマップを市内公共施設で無料配布しています。

また、今年度中に最新の防災学習コンテンツを掲載した防災ハンドブックを作成予定です。

いざというときの備えとして、災害時の行動を家族で確認しておきましょう。